

認知症に関する活動計画（概要）

長崎県作業療法士会では、2022年度より地域生活推進局に名称を変更し、局内に認知症作業療法班を設置。主な取り組みとして①認知症ケア資質向上のための研修事業の企画・運営 ②認知症の人と家族の会との連携強化 ③県や市町村からの委託事業や要望への対応に取り組んでいる。

又、POS共同にて「地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職認定研修会」を実施。県・市町村の事業については相談窓口を長崎県リハビリテーション支援センターに1本化し、上記研修会の修了者の中から各士会理事会協議にて推薦し対応。県士会会員の人材育成等も行ってる。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

県と公益社団法人認知症の人と家族の会長崎県支部は、毎年9月21日の「世界アルツハイマーデー」及び9月の「世界アルツハイマー月間」に共同で、認知症の理解を深めていただくための普及啓発を目的として県内各地で、昨年度に引き続き認知症のイメージカラーであるオレンジのライトアップを実施。

認知症の人と家族の会との連携事業

長崎県認知症の人と家族の会世話人、地域の家族の会メンバーとして活動したり、勤務する事業所がカフェ事業等に参加している作業療法士は存在するが県士会として情報を把握できていない。家族会との連携の為、士会に窓口を設置し、情報の共有や家族会主催の研修会などに会員が参加している。



会を支える地域の皆様と記念撮影

士会での取り組み

認知症初期集中支援事業：市町からの依頼を受け、認知症初期集中支援チーム員（医療員）やチーム員会議のアドバイザーとして、県士会会員を推薦している。

認知症予防事業：市町村からの依頼に対して各圏域ごとに設置されている広域リハセンターを窓口として、従事者の派遣調整がなされている。又、従事するスタッフを対象として地域包括ケア対策部介護予防班により認知症予防に関するスキルアップ研修を実施。

チームオレンジ：本年度より、地域包括支援センターからの依頼を受け、企画会議へ参加。講師などの要請があれば会員の派遣を行う。

認知症研修会：認知症サポーター養成講座と認知症作業療法研修会を実施。本年度より、認知症サポーターステップアップ研修を企画、会員への参加を促す。



今後の展開

- ・各市町村において行政からのニーズに対応できる県士会員の育成
- ・会員が興味を持って持続的に参加できる研修システムの検討